

第1回上下水道事業経営審議会の施策評価に関する意見への対応一覧

No	事業区分	意見	対応内容	資料番号	ページ
1	全体	施策評価SABCの判断基準がわからない。例えば指標が「c」、具体的取組が「◎」の場合に施策評価が「A」になったり、指標が「s」、具体的取組が「×」の場合に施策評価がAになるのは理解しにくい。 それぞれ点数化し、10点満点で区分ごとにSABCとし、点数も併記してはどうか。	取り組みの方向性の指標ごと・具体的取組ごとに点数化し、その合計点から評価を実施することとしました。	1	2, 3
2	全体	施策評価のSABCについて説明がないため、それぞれの意味合いが分かるようにしてほしい。	説明を追記しました。	1	3
3	水道	指標4-(1) R4実績値が0.0なのに評価がsの理由は？ その説明を追記してはどうか。	評価理由欄に説明を追記しました。(指標はR10目標が達成可能かどうかで評価しています。浄水施設の耐震化事業はR10年度までに完了予定であるため、評価を4としています。)	3-2	5
4	水道	5ページ「4. 水道施設等の計画的な更新と耐震化」の評価理由に、「妙見山配水池の更新による耐震等を検討している」とあるが、一方で7ページ「5. 災害対策の充実」の評価理由には「妙見山配水池の耐震化に遅れが生じている」とあり、表現に齟齬がある。	妙見山配水池は更新による耐震化や他施設との最適配置を含めて検討しており、表現の齟齬について修正しました。	3-2	5・7
5	水道	具体的取組8-⑤ 取り組みの方向性は「遊休施設の有効活用検討」であるため、実績欄は「提案はありませんでした」ではなく、有効活用ができたかどうかについて記載するのが適切かと思う。	表現を修正しました。	3-2	13
6	水道	具体的取組10-⑤ 実績欄の「量」や「料」は適切か？	「量」へと表現を修正しました。	3-2	18
7	水道 下水	具体的取組 水道10-⑤、下水11-③ 削減目標は二酸化炭素排出量の削減か、使用量の削減のどちらか。	「使用量の削減」と表現を修正しました。	3-3 5-3	3 2
8	下水	具体的取組9-⑨ 目標は市内8か所のマンホールに新規広告を掲載することであり、実績には市内5箇所を設置できたと記載がある。これは13箇所のうち、5箇所に設置ができたということか。わかりやすい表現へ改める必要があると思う。	表現を修正しました。	5-2	13
9	全体	施策目標について上下水道ともに言葉が専門的である印象を受けた。もう少しわかりやすい表現へ改める必要があると思う。	文言を修正しました。	3-3 5-3	全体
10	全体	目標の掲げ方について、「毎年レベルを保ちながら引き続き継続するもの」「計画に基づいて数値が毎年変わる目標」「レベルアップを図るもの」等を色分けができれば目標設定がより明確に分かりやすいものになるかと思う。	目標カテゴリーを以下の3つに設定し、目標設定の内容をより分かりやすくしました。 (1) 計画に基づき実施するもの (2) 水準を維持し実施するもの (3) 年度ごとに向上を目指し実施するもの の3つの目標カテゴリーで設定しました。	3-3 5-3	全体